神奈川県立鶴見総合高校 山田 恭弘

「情報」と『産業社会と人間』の連携

~情報を簡潔に伝える力~

神奈川県立鶴見総合高校 山田 恭弘

「情報」と『産業社会と人間』の連携

~情報を簡潔に伝える力~

神奈川県立鶴見総合高校 山田 恭弘

情報を簡潔に伝えよう!

情報を言葉で伝えよう

渡された問題についてできるだけ短い文章で表現しましょう ただし、必要に応じて句読点をつけ、文の終わりは「。」でとじること。

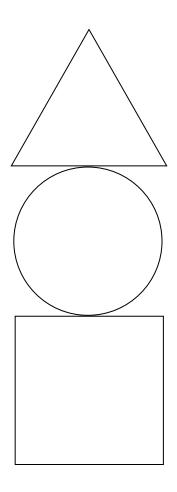
文字数

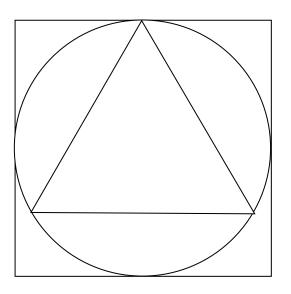
O				

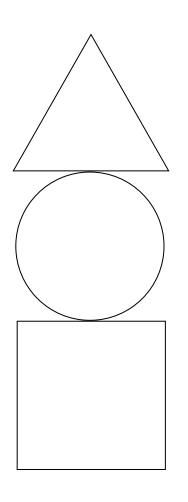
		- 1
1		- 1
1		- 1
1		- 1
1		- 1
1		- 1
		- 1
1		- 1
1		- 1
1		- 1
I		- 1
1		- 1
1		- 1
1		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
		- 1
1		- 1
		- 1
I		- 1
I		I
I		- 1
I		I
I		I

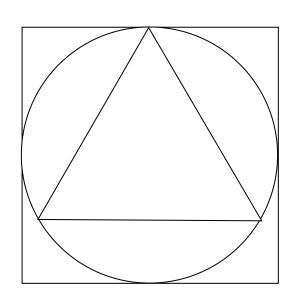
手順

- ①2人1組になり、それぞれに違う絵を見せます
- ②渡された絵をできるだけ短い文章で表現する
- ③文章が出来上がったら、ワークシートをペア で交換し、文章をもとに絵を描く
- ④絵を描き終わったら、ペアでワークシートを返し、元の絵と比較する









情報を言葉で伝えよう

渡された問題についてできるだけ短い文章で表現しましょう ただし、必要に応じて句読点をつけ、文の終わりは「。」でとじること。

文字数

<u> </u>					

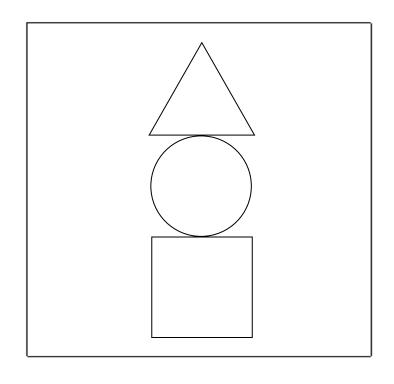
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
I		
I		
I		
I		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		

情報を言葉で伝えよう

渡された問題についてできるだけ短い文章で表現しましょう ただし、必要に応じて句読点をつけ、文の終わりは[。]でとじること。

文字数

O				









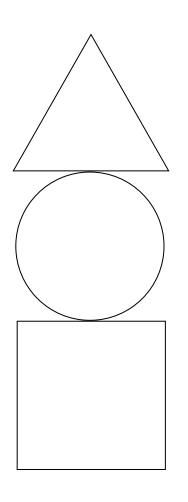
いまと	うしてる?		
a •		1/10	ツイート

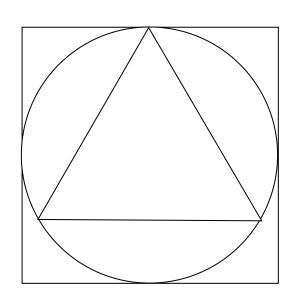
たくさんの情報から必要な情報だけを取捨選択し 簡潔にまとめてから伝えるという力が必要である

たくさんの情報から必要な情報だけを取捨選択し 簡潔にまとめてから伝えるという力が必要である



相手に分かりやすい情報伝達ができ コミュニケーション能力の向上

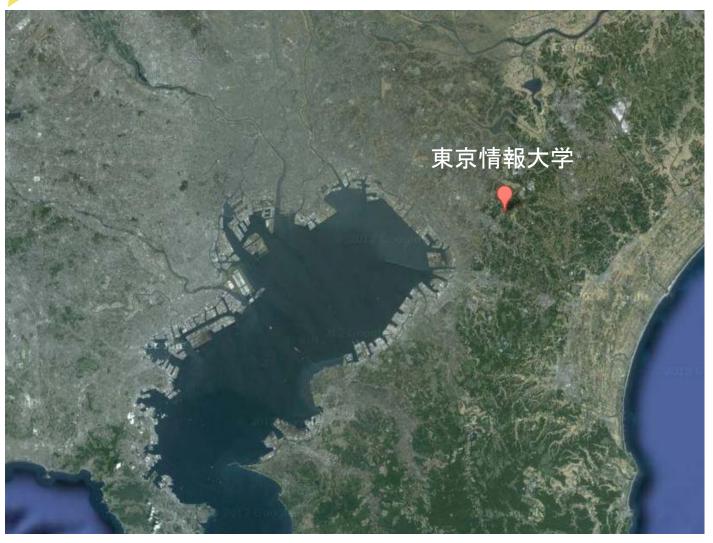




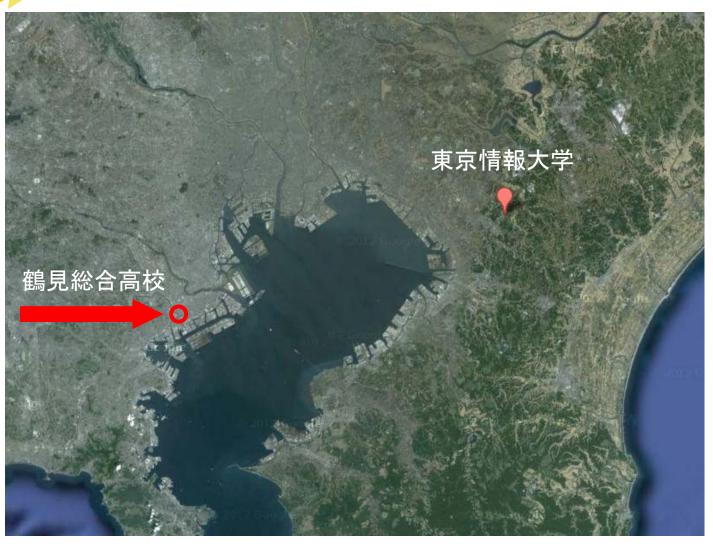
「情報」と『産業社会と人間』の連携



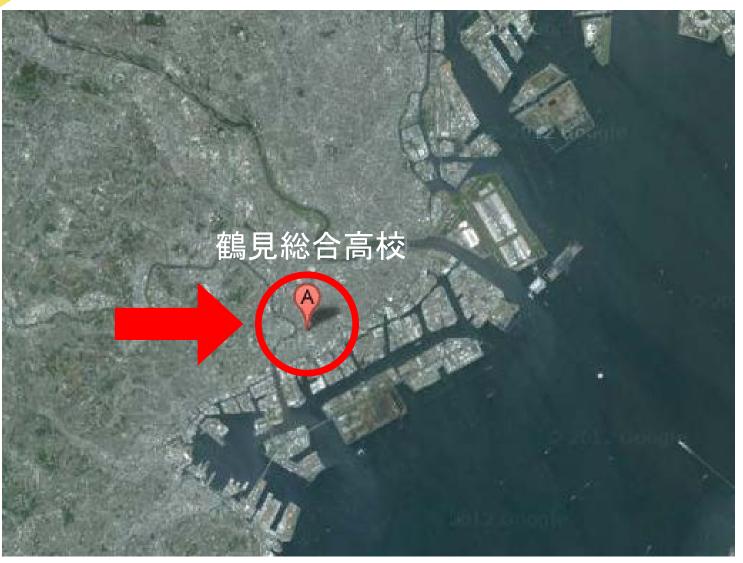


















場所:横浜市鶴見区

県立平安高校と県立寛政高 校が統廃合してできた高校

⇒ 9年目

単位制 総合学科

生徒数は約400名(1学次6クラス,1~4年次)

外国に繋がりのある生徒が多い



場所:横浜市鶴見区

県立平安高校と県立寛政高 校が統廃合してできた高校

⇒ 9年目

単位制 総合学科

生徒数は約400名(1学次6クラス,1~4年次)

外国に繋がりのある生徒が多い

「情報」と『産業社会と人間』の連携

「情報」と『産業社会と人間』の連携

「情報」と『産業社会と人間』の連携

総合学科においては、自己の進路への自覚を深めさせるとともに、将来の職業生活の基礎となる知識・技術等を修得させるため、原則としてすべての生徒に履修させる次のような内容の科目として「産業社会と人間」、「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」を開設することが適切である。

平成5年「高等学校教育の改革の推進に関する会議」

『高等学校教育の改革の推進について(第四次報告)

-総合学科について(報告)-』

文部科学省

総合学科においては、自己の進路への自覚を深めさせるとともに、将来の職業生活の基礎となる知識・技術等を修得させるため、原則としてすべての生徒に履修させる次のような内容の科目として「産業社会と人間」、「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」を開設することが適切である。

平成5年「高等学校教育の改革の推進に関する会議」

『高等学校教育の改革の推進について(第四次報告) -総合学科について(報告)-』

文部科学省

- ・自己の進路への自覚を深めさせる
- ・将来の職業生活の基礎となる知識・技術等を修得させる

平成5年「高等学校教育の改革の推進に関する会議」

『高等学校教育の改革の推進について(第四次報告)

-総合学科について(報告)-』

文部科学省

目標

自己の生き方を探求させるという視点から、自己 啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選 択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必 要な態度やコミュニケーション能力を養うととも に、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわ たって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。 また、現実の産業社会やその中での自己の在り方 生き方について認識させ、豊かな社会を築くため に積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。

目標

自己の生き方を探求させるという視点から、自己 啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選 択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必 要な態度やコミュニケーション能力を養うとと に、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわ たって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。 また、現実の産業社会やその中での自己の在り方 生き方について認識させ、豊かな社会を築くため に積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。



目標

自己の生き方を探求させるという視点から、自己 啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選 択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必 要な態度やコミュニケーション能力を養うととも に、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわ たって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。 また、現実の産業社会やその中での自己の在り方 生き方について認識させ、豊かな社会を築くため に積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。



キャリア教育=未来探索

未来探索

未来探索

1年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

未来探索

2年次

総合的な学習の時間

1 年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

3年次 総合的な学習の時間

2年次 総合的な学習の時間

1年次 産業社会と人間 総合的な学習の時間

3年次 総合的な学習の時間

1 年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間

2年次

総合的な学習の時間

3年次

未来探索I

1年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

2年次

総合的な学習の時間

未来探索Ⅱ

2年次

総合的な学習の時間

未来探索I

1年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

3年次

総合的な学習の時間

未来探索Ⅲ

未来探索Ⅱ

3年次

総合的な学習の時間

未来探索I

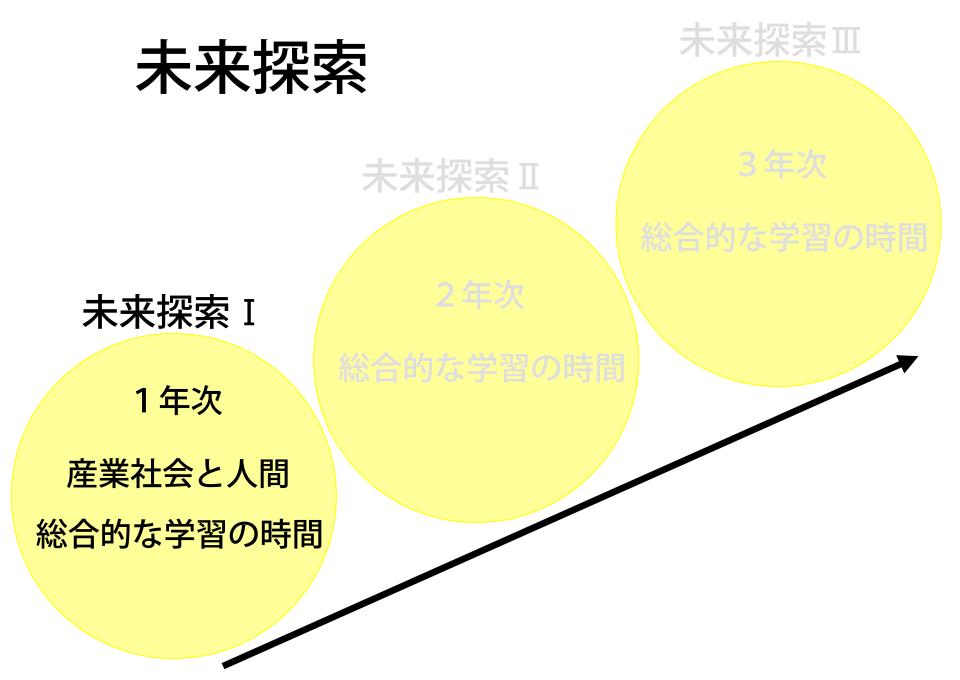
1年次

産業社会と人間

総合的な学習の時間

2年次

総合的な学習の時間



未来探索I

	単元	目標
1	自己を見つめる	自己を見つめ、他者を 理解するとともに、総 合学科における学びの 全体像を知る。
2	職業世界を知る (1)	職業への全般的な理解 を深めるとともに、学 習活動や基礎学力診断 テストの振り返りを通 して、学びへの目的意 識を高めていく。
3	ものづくりを体 験する	ものづくり体験を通して、社会生活を支えるものづくりの大切さを知るとともに、職業への理解を深める。
4	履修計画を立て る	興味・関心、卒業後の 進路を考えながら、 2・3年次の履修計画 を考える。
5	上級学校を知る	ぷち夏活動を通して、 上級学校への理解を深 める。

	単元	目標
6	職業世界を知る (2)	さまざまな分野で活躍 する若者の姿を通して、 職業と生きがいについ て考える。
7	社会のしくみを 考える	ジョブシャドウイング を通して、社会を構成 する事業所・施設の活 動を理解するとともに、 働く人の姿を知る。
8	地域研究を進める	研修旅行に向けて、自 己課題を設定するとと もに、その課題の解決 をめざす。
9	これからの高校 生活を考える	1年間の学習活動を大きく振り返るとともに、 これからの高校生活の目標を立てる。

全国高等学校情報教育研究会 第5回大会 分科会発表

「情報」と『産業社会と人間』の連携

全国高等学校情報教育研究会 第5回大会 分科会発表

『情報A』と『未来探索Ⅰ』の連携

未来探索I

	単元	目標
1	自己を見つめる	自己を見つめ、他者を理解 するとともに、総合学科に おける学びの全体像を知る。
2	職業世界を知る (1)	職業への全般的な理解を深めるとともに、学習活動や 基礎学力診断テストの振り 返りを通して、学びへの目 的意識を高めていく。
3	ものづくりを体 験する	ものづくり体験を通して、 社会生活を支えるものづく りの大切さを知るとともに、 職業への理解を深める。
4	履修計画を立て る	興味・関心、卒業後の進路 を考えながら、2・3年次 の履修計画を考える。
5	上級学校を知る	ぷち夏活動を通して、上級 学校への理解を深める。

	単元	目標
6	職業世界を知る(2)	さまざまな分野で活躍する若者の姿を通して、職 業と生きがいについて考える。
7	社会のしくみ を考える	ジョブシャドウイングを 通して、社会を構成する 事業所・施設の活動を理 解するとともに、働く人 の姿を知る。
8	地域研究を進める	研修旅行に向けて、自己 課題を設定するとともに、 その課題の解決をめざす。
9	これからの高 校生活を考え る	1年間の学習活動を大きく振り返るとともに、これからの高校生活の目標を立てる。

ものづくりを体験する

ものづくりを体験する → 職業技術校

ものづくりを体験する → 職業技術校











社会のしくみを考える

社会のしくみを考える

ジョブシャドウイング

社会のしくみを考える

ジョブシャドウイング 働く

社会のしくみを考える

ジョブシャドウイング

働く影となって

社会のしくみを考える

ジョブシャドウイング

働いている人の後ろについて 「働く」ということを学び、 職業観を身につける

ものづくりを体験する =報告書づくり 社会のしくみを考える

ものづくりを体験する =報告書づくり 社会のしくみを考える

ものづくり体験報告書

ジョブシャドウイング報告書

全国高等学校情報教育研究会 第5回大会 分科会発表

9999 名前 ものづくり体験報告書

訓練コース: ↩

ものづくり体験で学んだこと₽

~000~+

かなテクカレッジで○○を体験し、以下の様なことを考えた。↓

•

これからの高校生活を考える

これからの高校生活を考える

未来探索 I で学んできたことを振り返り、 まとめ、発表を行う

これからの高校生活を考える

未来探索 I で学んできたことを振り返り、 まとめ、発表を行う

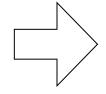
未来探索I

- ・振り返り
- ・テーマ決め

これからの高校生活を考える

未来探索 I で学んできたことを振り返り、 まとめ、発表を行う

未来探索 I 一



▪振り返り

•内容を膨らます

・テーマ決め

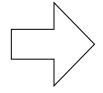
- ・ストーリー作り
- •発表資料作り

情報 A と未来探索 I の連携②

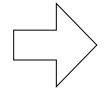
これからの高校生活を考える

未来探索 I で学んできたことを振り返り、 まとめ、発表を行う

未来探索I



情報A



未来探索I

- ・振り返り
- ・テーマ決め

- •内容を膨らます
- ・ストーリー作り
- •発表資料作り

- ・クラス内発表会
- •全体発表会

これからの高校生活を考える

「みらたん振り返り」

情報を簡潔に伝える力

報告書づくり →サブタイトル

みらたん振り返り →スライド作り

情報を簡潔に伝える力

報告書づくり →サブタイトル

みらたん振り返り →スライド作り



情報を簡潔に伝える力

全国高等学校情報教育研究会 第5回大会 分科会発表

ご清聴有難うございました

神奈川県立鶴見総合高校 山田 恭弘